



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名 日本ケミファ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 一城

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 安本 昌秀

TEL 03-3863-1211

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	24,899	13.3	3,423	34.2	3,315	36.3	1,965	47.7
24年3月期第3四半期	21,979	6.6	2,550	66.2	2,432	72.9	1,330	227.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,997百万円 (31.2%) 24年3月期第3四半期 1,523百万円 (164.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	47.87	47.86
24年3月期第3四半期	31.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
25年3月期第3四半期	36,646		12,016		32.8	292.49		
24年3月期	33,790		10,230		30.3	248.92		

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,007百万円 24年3月期 10,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	12.2	3,500	19.7	3,300	18.9	1,800	25.1	43.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、【添付資料】P.2「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	42,614,205 株	24年3月期	42,614,205 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,560,889 株	24年3月期	1,541,997 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	41,060,577 株	24年3月期3Q	41,756,134 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間においては、昨年12月の政権交代により発足した第2次安倍内閣の財政・経済運営への期待から四半期末には市場動向に変化の兆しが見えたものの、わが国経済は欧州ソブリンリスクの影響や世界景気の減速等を背景として足踏み状態にあり、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、政府による社会保障財政支出抑制への取り組みとして「後発医薬品調剤体制加算」の見直しや一般名処方の推進等が実施され、ジェネリック医薬品の数量シェアは25%を超えましたが、政府目標の30%には届かない見通しです。

このような環境下で、当社グループは「信頼できるジェネリック医薬品」の普及に貢献するべく、新薬メーカーとして培ってきた「安心と安全」のブランドをベースとして、ジェネリック医薬品の品質と効率性向上の取り組みをより一層推し進めてまいりました。

(医薬品事業)

医薬品事業の業績はジェネリック医薬品の売上高が前年同期比23.8%の増収となったことにより、医薬品事業全体の売上高は24,177百万円(前年同期比14.4%増)、営業利益は3,515百万円(前年同期比40.6%増)となりました。

(その他)

主に受託試験事業、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業である「その他」の事業の業績は、受注は堅調に推移しておりますが、市場競争の激化等により、売上高は722百万円(前年同期比14.7%減)、営業利益は92百万円の損失(前年同期は営業利益49百万円)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,899百万円(前年同期比13.3%増)、営業利益は3,423百万円(前年同期比34.2%増)、経常利益は3,315百万円(前年同期比36.3%増)、四半期純利益は1,965百万円(前年同期比47.7%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

1)資産

流動資産は前連結会計年度末に比べて2,307百万円増加し、22,868百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べて552百万円増加し、13,767百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて2,855百万円増加し、36,646百万円となりました。

2)負債

流動負債は前連結会計年度末に比べて974百万円増加し、13,845百万円となりました。これは、主に短期借入金の増加によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べて96百万円増加し、10,784百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,070百万円増加し、24,630百万円となりました。

3)純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べて1,785百万円増加し、12,016百万円となりました。これは、主に四半期純利益の計上により利益剰余金が1,758百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成24年5月11日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,677	6,433
受取手形及び売掛金	9,067	11,583
商品及び製品	2,766	2,794
仕掛品	685	728
原材料及び貯蔵品	595	549
繰延税金資産	656	593
その他	111	186
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	20,561	22,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,221	3,365
機械装置及び運搬具(純額)	746	953
工具、器具及び備品(純額)	185	234
土地	5,550	5,550
リース資産(純額)	439	408
建設仮勘定	—	16
有形固定資産合計	10,143	10,528
無形固定資産		
のれん	519	389
リース資産	101	79
ソフトウェア	21	13
電話加入権	20	20
無形固定資産合計	662	502
投資その他の資産		
投資有価証券	938	1,344
長期貸付金	7	7
長期前払費用	14	10
敷金及び保証金	104	105
繰延税金資産	310	316
その他	1,098	1,012
貸倒引当金	△64	△60
投資その他の資産合計	2,410	2,736
固定資産合計	13,215	13,767
繰延資産		
社債発行費	14	10
繰延資産合計	14	10
資産合計	33,790	36,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,981	4,871
短期借入金	540	1,090
1年内償還予定の社債	370	370
1年内返済予定の長期借入金	2,880	3,137
リース債務	136	140
未払金	45	32
未払法人税等	832	703
未払消費税等	77	204
未払費用	2,170	1,987
預り金	91	199
返品調整引当金	4	4
販売促進引当金	315	429
その他	425	673
流動負債合計	12,871	13,845
固定負債		
社債	735	465
長期借入金	7,042	7,386
リース債務	436	378
退職給付引当金	783	832
役員退職慰労引当金	289	320
受入敷金保証金	9	9
再評価に係る繰延税金負債	1,391	1,391
固定負債合計	10,688	10,784
負債合計	23,560	24,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	2,835	4,593
自己株式	△470	△477
株主資本合計	7,966	9,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	58
土地再評価差額金	2,230	2,230
その他の包括利益累計額合計	2,257	2,289
新株予約権	7	8
純資産合計	10,230	12,016
負債純資産合計	33,790	36,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	21,979	24,899
売上原価	9,794	11,582
売上総利益	12,184	13,316
返品調整引当金繰入額	0	0
差引売上総利益	12,184	13,315
販売費及び一般管理費	9,634	9,892
営業利益	2,550	3,423
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	25	23
固定資産賃貸料	12	12
持分法による投資利益	7	7
補助金収入	34	17
その他	17	14
営業外収益合計	99	78
営業外費用		
支払利息	156	138
手形売却損	11	10
支払手数料	20	18
その他	29	18
営業外費用合計	217	186
経常利益	2,432	3,315
特別利益		
受取保険金	64	—
特別利益合計	64	—
特別損失		
固定資産除却損	19	16
その他の投資評価損	8	—
貸倒引当金繰入額	21	—
災害による損失	40	—
特別損失合計	89	16
税金等調整前四半期純利益	2,406	3,298
法人税、住民税及び事業税	918	1,284
法人税等調整額	157	48
法人税等合計	1,076	1,333
少数株主損益調整前四半期純利益	1,330	1,965
少数株主利益	0	—
四半期純利益	1,330	1,965

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,330	1,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	32
土地再評価差額金	197	—
その他の包括利益合計	192	32
四半期包括利益	1,523	1,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,523	1,997
少数株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	21,133	846	21,979	—	21,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	67	89	△ 89	—
計	21,155	913	22,069	△ 89	21,979
セグメント利益	2,500	49	2,550	—	2,550

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康・美容関連事業、安全性試験の受託等及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	24,177	722	24,899	—	24,899
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	5	15	△ 15	—
計	24,187	727	24,914	△ 15	24,899
セグメント利益又は損失(△)	3,515	△ 92	3,423	—	3,423

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
該当事項はありません。